

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和3年10月21日（木）
- 2 確認箇所  
瓦礫類一時保管エリアE2
- 3 確認項目  
不適切な廃棄物保管の是正状況

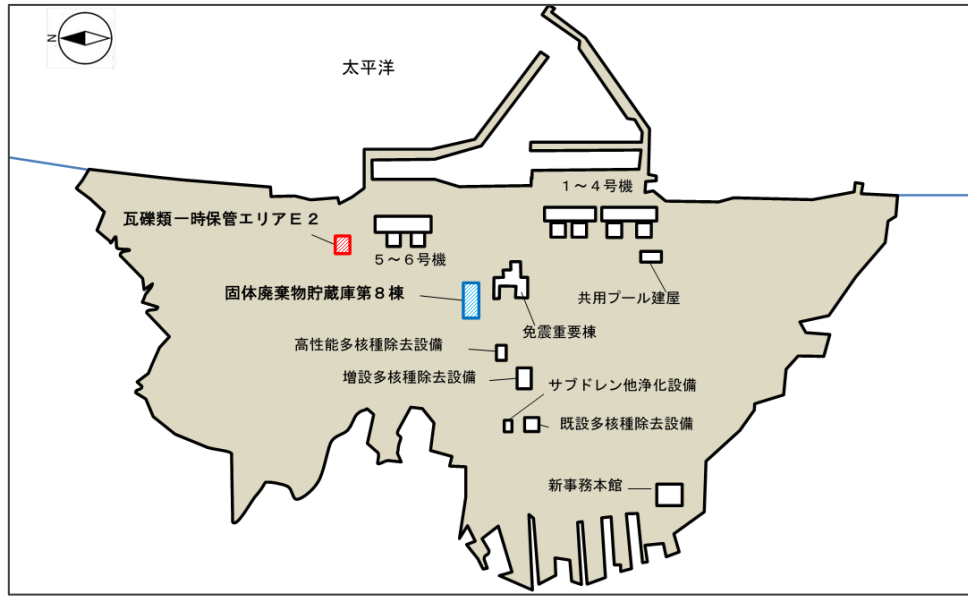
### 4 確認結果の概要

使用済み高性能多核種除去設備前処理フィルタを保管した容器1基について、ベント孔<sup>※</sup>が「閉」にされた状態で固体廃棄物貯蔵庫第8棟の地下に保管されていることを令和3年9月15日に東京電力社員が確認した。

前回確認時（9月17日）、固体廃棄物貯蔵庫第8棟の地下から、当該容器を保管する本来のエリアである瓦礫類一時保管エリアE2に当該容器が運搬されたことを確認したが、今回はベント孔の開閉状況並びにその後の保管状況を確認した。（図1）

- ・前回確認時、瓦礫類一時保管エリアE2東側で保管されていた当該容器は、同エリアで実施されているコンテナの内容物確認作業の支障となることから、エリア南側の入口付近に移設されていた。（写真1）
- ・ベント孔については「開」状態で適切に保管されており、容器にも異常等は確認されなかった。（写真2）
- ・東京電力によると、再発防止対策としてガイド・手順書を作成するとともに、廃棄物を管理するためのシステムを改修するハード的な対策を施すとのことである。

※ベント孔 使用済みの高性能多核種除去設備前処理フィルタは、貯蔵中に発生する可能性がある水素ガスの滞留を防止するため、当該フィルタを収納するコンクリート製容器の蓋に水素ガスを放出する孔が設置されている。なお、当該容器はベント孔を開放した状態で屋外の瓦礫類一時保管エリアE2に貯蔵することが実施計画で定められている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
 前回確認時の当該容器の保管状況  
 (南側から撮影)  
 (令和3年9月17日撮影)



(写真1-2)  
 今回確認時の当該容器の保管状況  
 (南西側から撮影)  
 (令和3年10月21日撮影)



(写真2-1)  
 当該容器のベント孔の状況



(写真2-2)

ベント孔の拡大写真

(ベント孔が「閉」の場合は、金属製の栓がねじ込まれる構造となっている。)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。